

3 . 地域安全学会総会等報告

(1) 総会報告

去る5月28日に、2004年度地域安全学会総会が開催されました。総会出席者は52名、委任状提出者は161名で総会は成立し、2003年度事業報告及び決算報告、2004年度事業計画及び予算、役員の改選等が報告・審議され、了承されました。あわせて昨年度の地域安全学会論文賞および論文奨励賞の授与式が行われました。

その内容について、以下に掲載します。

1 . 2003 年度事業報告

地域安全学会が2003年度に実施した事業は下記の通りである。

(1) 総会及び公開シンポジウムの開催

総会及び公開シンポジウムを下記の通り開催した。

日 時：2003年5月23日（金）
場 所：能代市文化会館大ホール

（担当：調査企画委員会）

(2) 理事会の開催

2003年度は理事会を下記の通り開催した。

	開催年月日	出席者数	委任状数
第1回	2003年5月23日	9	9
第2回	2003年7月26日	14	7
第3回	2003年9月20日	14	11
第4回	2003年11月7日	15	4
第5回	2004年1月31日	16	5
第6回	2004年3月20日	15	4

（定足数：16名）

(3) 第13回研究発表会の開催

第13回研究発表会を下記の通り開催した。

日 時：2003年11月7日（金）～11月9日（日）

場 所：静岡県地震防災センター

発表論文数：論文集43編

梗概集54編（ポスター発表26編、口頭発表28編）（特別報告含む）

出席者数：202名

（担当：研究発表会実行委員会）

(4) 地域安全学会梗概集の刊行

第 13 回研究発表会において発表された論文の梗概集「地域安全学会梗概集 No.13」を刊行した。

(担当：研究発表会実行委員会)

(5) 学術委員会

「地域安全学会論文集 No.5」を刊行し、その論文発表を第 13 回研究発表会の中で行った。論文賞（1 名）と論文奨励賞（3 名）の選出を行った。

(担当：学術委員会)

(6) 調査・企画委員会の活動

① 小委員会の活動

A：人と地域の防災戦略研究小委員会

人と地域の防災力を評価し、その防災力を潜在的に向上させるための戦略的方策を検討することを目的として、7 回の委員会を開催して関連する調査・研究結果の話題を相互に持ち寄り検討を進め、具体的な調査・研究テーマの集約を図ることを行った。

人と地域の防災力を総合的に評価するためには、地域の企業・ボランティア・自主防災組織と自治体との連携の絆がバランスよく整合しているかが重要であるとの観点から、人口 20 万人以上の都市を対象として、アンケート調査を実施した。

B：防災体系国際比較研究小委員会

トルコと中国を対象として、系統的な比較研究のための先行調査を行った。

② 研究成果報告

第 13 回研究発表会においてそれぞれの小委員会がポスターセッションで研究成果報告を行った。

(担当：調査・企画委員会)

(7) 人材育成システム構築のための特別委員会

3 年計画で活動を開始し、今年度は下記の委員会を開催した。

第 1 回：2003 年 11 月 8 日（土）

第 2 回：2003 年 12 月 27 日（土）

第 3 回：2004 年 3 月 18 日（木）

(8) 会員名簿の改訂発行

会員の入退会に伴い、2003 年度会員名簿を発行した。

(担当：事務局)

(9) 広報委員会の活動

① ニュースレターを下記の通り発行した。

No.44：2003 年 8 月

No.45 : 2003 年 10 月

No.46 : 2004 年 1 月

No.47 : 2004 年 4 月

(担当理事 : 村尾修)

②ホームページについて

- ・掲載内容の更新と充実を図った。

(担当理事 : 大西一嘉)

(10) 会員数及び年会費納入

2003 年度末 (2004 年 3 月 31 日) 現在の会員数及び会費納入状況は下記の通りである。

	会 員 数	会費納入状況		
		過年度分	本年度分	次年度分
賛助会員	2 社	——	2 社	——
正 会 員	535 名	22 名	373 名	1 名
学生会員	94 名	2 名	51 名	——

2 . 2004 年度事業計画

地域安全学会が 2004 年度に計画している事業は下記の通りである。

(1) 総会及び春の一般論文発表会 (第 14 回研究発表会)・公開シンポジウムの開催

総会及び春の一般論文発表会 (第 14 回研究発表会)・公開シンポジウムを下記の通り開催する。

日 時 : 2004 年 5 月 28 日 (金) ~5 月 29 日 (土)

場 所 : 紀伊田辺市紀南文化会館

(担当 : 調査企画委員会)

(2) 理事会の開催

2004 年度は理事会を下記の通り開催する。

第 1 回 : 2004 年 5 月 28 日

第 2 回 : 2004 年 7 月 24 日

第 3 回 : 2004 年 9 月 18 日

第 4 回 : 2004 年 11 月 5 日

第 5 回 : 2005 年 1 月 29 日

第 6 回 : 2005 年 3 月 26 日

(3) 第 15 回研究発表会の開催

第 15 回研究発表会を下記の通り開催する。

日 時：2004年11月5日(金)～11月7日(日)

場 所：静岡県地震防災センター

(担当：研究発表会実行委員会)

(4) 第1回国際都市防災会議の開催

日 時：2005年1月18日(水)～1月20日(金)

場 所：六甲アイランド、ベイシェラトンホテル他

- ・ 17日(火)は追悼式
- ・ 21日(土)は国連防災世界会議で決議文報告

(担当：国際都市防災会議実行委員会)

(5) 地域安全学会梗概集の刊行

総会及び春の一般論文発表会(第14回研究発表会)において発表される論文の梗概集「地域安全学会梗概集 No.14」を刊行する。

(担当：総会実行委員会・研究発表会実行委員会)

第15回研究発表会において発表される論文の梗概集「地域安全学会梗概集 No.15」を刊行する。

(担当：研究発表会実行委員会)

(6) 学術委員会活動

「地域安全学会論文集 No.6」を刊行し、その論文発表を第15回研究発表会の中で行なう。
第15回研究発表会の論文賞と論文奨励賞の選出を行なう。

(担当：学術委員会)

(7) 調査企画委員会活動

① 小委員会の活動

A：人と地域の防災戦略研究小委員会

これまでの活動により蓄積されてきた広範な観点からの話題提供に対する討議の経過と具体的な調査活動として実施したアンケート調査による防災関連組織間の意識と相互の連携による地域の防災力評価について検討を進めるとともに、この調査結果の考察に基づいて、人と地域の防災戦略の要点について整理し、その要点を踏まえた具体的な方策を実行可能とする研究テーマをまとめていく予定である。

B：防災体系国際比較研究小委員会

2003年度にトルコと中国を対象として行った先行調査の成果を分析し、系統的な国際比較の実施に向けて、その可能性と実施方法を検討する。

② 研究発表会等での研究成果報告、公開研究会の開催等を通じて研究の推進、交流を図る。

(8) 人材育成システム構築のための特別委員会

3年計画の2年目にあたる今年度は、全体委員会の他に各分科会を設けて活動する。

(9) 会員名簿の改訂と発行

2003年度中の会員の入退会に伴い、2004年度会員名簿を発行する。

(担当：事務局)

(10) 広報委員会の活動

①ニュースレターを下記の通り計4回発行する。

No.48：2004年8月

No.49：2004年10月

No.50：2005年1月

No.51：2005年4月

②ホームページについて。

・最新ニュースの掲載と必要な情報の更新を行なう。

(担当：広報委員会及び事務局)

3 . 2004年度地域安全学会役員

会 長	林 春男	京都大学 防災研究所附属巨大災害研究センター	
副会長	翠川 三郎	東京工業大学大学院 総合理工学研究科	学術・選挙制度・日本学術会議 担当副会長
副会長	佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院	総務・渉外・法人化検討・事務局 担当副会長 特別委員会委員 長 調査企画委員
理 事	系井川 栄一	筑波大学大学院 システム情報工学研究科	広報委員長
理 事	岩田 孝仁	静岡県防災局	学術委員
理 事	大西 一嘉	神戸大学 工学部	調査企画副委員長 広報委員
理 事	岡田 成幸	北海道大学大学院 工学研究科	学術委員
理 事	清野 純史	京都大学大学院 工学研究科	学術副委員長
理 事	塩野 計司	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	総会実行副委員長 学術委員 調査企画委員
理 事	重川 希志依	富士常葉大学 環境防災学部	研究発表会実行委員長
理 事	高梨 成子	(株)防災&情報研究所	学術委員 調査企画委員
理 事	立木 茂雄	同志社大学 文学部社会学科	日米都市防災会議委員長
理 事	塚越 功	慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科	
理 事	中林 一樹	東京都立大学大学院 都市科学研究科	受託研究運営委員長
理 事	長能 正武	日本リスクマネジメント(株) 技術開発部	
理 事	廣井 脩	東京大学 社会情報研究所	
理 事	三船 康道	(株)エコプラン	調査企画委員
理 事	宮野 道雄	大阪市立大学大学院 生活科学研究科	総会実行委員長 調査企画委員
理 事	務台 俊介	総務省自治財政局 調整課長	
理 事	村上 ひとみ	山口大学大学院 理工学研究科	調査企画委員長
理 事	村尾 修	筑波大学大学院 システム情報工学研究科	広報副委員長
理 事	目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所	学術委員長 調査企画委員
理 事	矢代 晴実	東京海上リスクコンサルティング株式会社	研究発表会実行副委員長 調査企画委員
理 事	山崎 文雄	千葉大学 工学部都市環境システム学科	日米都市防災会議副委員長
理 事	吉井 博明	東京経済大学 コミュニケーション学部	
理 事	小林 輝幸	東京消防庁 防災部	所属で受け持つ理事
理 事	下河内 司	総務省消防庁 防災課	所属で受け持つ理事
理 事	加藤 茂	国土交通省都市・地域整備局 まちづくり推進課 都市防災対策室	所属で受け持つ理事
理 事	高野 匡裕	国土交通省河川局 防災課災害対策室	所属で受け持つ理事
理 事	上総 周平	内閣府 参事官(地震・火山対策担当)	所属で受け持つ理事
監 事	井野 盛夫	富士常葉大学 環境防災学部	
監 事	室崎 益輝	独立行政法人 消防研究所 所長	
顧 問	伊藤 滋	早稲田大学 教授	
顧 問	小川 雄二郎	富士常葉大学 環境防災学部	
顧 問	梶 秀樹	慶應義塾大学 総合政策学部	
顧 問	片山 恒雄	独立行政法人防災科学技術研究所	
顧 問	亀田 弘行	独立行政法人防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター	
顧 問	熊谷 良雄	筑波大学大学院 システム情報工学研究科	
顧 問	高野 公男	(株)マヌ都市建築研究所	
顧 問	濱田 政則	早稲田大学 理工学部	
顧 問	村上 處直	早稲田大学 理工学総合研究センター	
顧 問	村上 雅也	早稲田大学 理工学総合研究センター	

4 . 2004 年度の組織・役員・業務分担

- (1) 会 長：林 春男（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター）
理事会運営，総会運営，発表会等での挨拶，副会長担当外の学会内外の業務処理，
学会の長期展望（学術団体化，法人化，税務対策等）
- (2) 副会長：翠川 三郎（東京工業大学大学院 総合理工学研究科）【学術担当(①～③)】
：佐土原 聡（横浜国立大学大学院 環境情報研究院）【総務・渉外担当④～⑥、⑧】
- (3) 監査役：井野 盛夫（富士常葉大学 環境防災学部）
：室崎 益輝（独立行政法人 消防研究所 所長）
会計監査
- (4) 理事会：別紙（2004年度地域安全学会役員名簿）
地域安全学会の運営全般，各種事項の承認
- (5) 顧 問：別紙（2004年度地域安全学会役員名簿）
理事会への助言
- (6) 委員会
- ① 学術委員会：目黒 公郎(東京大学 生産技術研究所)
査読論文の投稿・査読規定，査読論文募集，同査読依頼，採否の判定，論文集刊行，
発表会スケジュール編成，論文賞選定（委員長の任期は2年とする）
 - ② 調査企画委員会：村上 ひとみ（山口大学大学院 理工学研究科）
長期およびトピック的な課題の整理・分析とその学会員への提供，
講演会・シンポジウムの開催，災害調査の企画・実施
 - ③ 受託研究運営委員会：中林 一樹（東京都立大学 都市科学研究科）
受託研究の受入れ・実施
 - ④ 日米都市防災会議委員会：立木 茂雄(同志社大学 文学部社会学科)
 - ⑤ 広報委員会：糸井川 栄一（筑波大学大学院 システム情報工学研究科）
ニュースレター編集・刊行，学会ホームページ管理
 - ⑥ 研究発表会実行委員会：重川 希志依（富士常葉大学 環境防災学部）
一般投稿論文の募集，梗概集編集・刊行，発表会スケジュール編成，会場設営，
懇親会開催，発表会のニュースレター用原稿の編集（委員長の任期は2年とする）
 - ⑦ 総会実行委員会：宮野 道雄（大阪市立大学大学院 生活科学研究科）
 - ⑧ 特別委員会：佐土原 聡（横浜国立大学大学院 環境情報研究院）
- (7) 事務局（事務局長：宮本英治）
会員管理，会員名簿発行，会費徴収と管理，予算の策定・執行管理、理事会・総会の開催
事務，発表会参加者管理，その他の事務全般